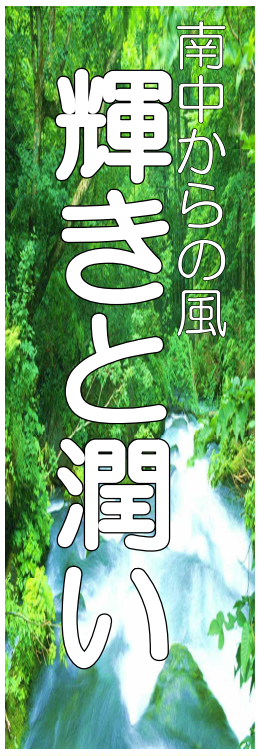

学校通信
平成２７年11月20日
第７号
発　行
校長　林田靖也

林田靖也校長

後期第一ステージが始まり、約一月が立ちました。後期スタートに際し、生徒の皆さんには、「自分の命を大切にすると共に、相手の命を大切にする学期にしよう」と投げかけました。夏の台風で倒れた校門近くの『命を守る木』を「何とか枯れずに生命を育んでほしい」という思いでＰＴＡの皆さんと枝を伐採し、元通りに植え込みました。その『命を守る木』が、花を咲かせました。キンモクセイの花でした。花の数はそう多くはありませんでしたが、特有のさわやかな香りを校庭に漂わせてくれました。また、玄関前では、春に咲くビオラの苗やサクラソウの苗を職員で水やりや消毒等をしながら、春の開花を待っています。

このように、植物のことを絶えず見つめ、思いやり、育てていくことは、より良い人間関係づくりにも通じるものがあると思います。

生徒の皆さんも、相手のことを思いやり、悩みに気づき、互いに協力していける人間関係づくりにさらに努力していってほしいと思います。

まずは、生徒会で取り組んでいる、南中いじめ防止目標『伝えよう自分の考え　受け止めよう相手の思い　勇気と優しさをもって』さらに、南中年間努力目標『明るく心通うあいさつをする　やる気あふれる南中生』を、再確認し、実践していってほしいと思います。

生徒会会長　武田桜子さん

～生徒会活動を通して思うこと～

前期を振り返ると、初めてのことでわからないことばかりでしたが、あいさつ運動や“あそびへくつ”の取り組みを継続して行うことができてよかったと思います。また、学校新聞の掲示や目安箱の設置、昼休みの時間を利用したコミュニケーション・タイム、学校の課題を見つめるための生徒議会などの新たな取り組みも行うことができました。改善することはありますが、とても充実した生徒会活動ができたと思います。

今年度は何に一番力を入れて取り組むかということで、私たちは“あそびへくつ”の“あ”、あいさつに力を入れていこうと決めました。私は、昨年の生徒会役員選挙で、「あいさつは人と人とのコミュニケーションの基本であり、大切なものなので、あいさつのあふれる南中にしたい」と発言しました。でも現実は、あいさつをする生徒もいればしない生徒もいます。場合によってあいさつをしにくいこともあると思います。私も廊下で生徒同士すれちがうとき、あいさつしづらいなと思うときがたまにあります。まずはこのような雰囲気をなくさないといけないと私は思います。生徒全員が自然にあいさつできるように先輩、後輩、男女関係なく相手からされるのを待つのではなく、自分からできるような学校にしていけるよう、後期から新たな取り組みも考えているところです。

これまでの南中生徒会の歴史を考えると、私たちの代で取り組んでいることは小さなことかもしれません。しかし私は、これからの南中をよりよい学校にするために、残り少ない生徒会活動を悔いの残らないよう精一杯頑張っていきたいと思います。

特集

『結』みんなでつなぐ第一歩

10月25日（日）学習成果発表会「南中文化の日」を開催しました。劇・学年合唱・意見発表等の取組を通して、仲間とつながり合うこと、相手の思いや痛みに気づき、共感し互いに支え合うことの大切さを考えさせる取組になったことと思います。テーマにもありますが、この取組が「みんなでつなぐ第一歩」です。今後、南中文化の日の取組を通して学んだことを、学校、家庭、地域社会で実践できたらさらに素晴らしい南中の伝統と文化になると思います。

１　年　合　唱

２　年　合　唱

３　年　合　唱

中体連駅伝大会力走

10月20日（火）郡市中体連主催行事としては最後の駅伝競走大会が、阿蘇市農村運動公園陸上競技場「あぴか」周回コースで行われました。上位入賞を目標に、選手それぞれが一生懸命な走りと襷に思いを込め、最後まであきらめない走りを見せてくれました。結果として、男子は、一時間９分46秒のタイムで２位入賞、女子は、53分45秒のタイムで、10位までしっかり走り抜く姿にさわやかな感動を覚えました。男子一区佐藤映斗君、６区アンカーの田苗孝啓君が意地を見せての区間賞に輝きました。選手の皆さんお疲れ様でした。

最終区田苗君が競技場に姿を見せたところからゴールするまでみんなで「頑張れ！」の声援を送り続けていたところが南中生のいいところです。

また、男子は、阿蘇郡市代表として、11月6日に天草市で行われました県中体連駅伝大会に出場しました。アップダウンの激しいコースでしたが、しっかり襷をつなぎ一生懸命な走りを見せてくれました。

第３２回南中吹奏楽部定期演奏会

10月12日吹奏楽部の定期演奏会が本校体育館で行われました。秋の夜長に吹奏楽の音色が響き渡り、心が潤う一日となりました。２部では、職員の有志による演奏や歌、いつ練習したのかな？と思うほど、素晴らしいできばえでした。吹奏楽部は、年間を通して、ボランティア活動に取り組んでいます。今後も演奏を通して地域へ頑張りを発信していただきたいと思います。

編集後記

朝からあいさつ運動で郵便局前に毎日立っていますが、最近はよく朝霧が発生し、なんとも言えぬ幻想的な風景を見ながら、心が癒やされて一日が始まる日々を過ごしています。

紅団団長佐藤映斗君